大阪市教

2023年 10月5日
VOL. 606
（一部30円。購読料は組合費に含む）

大阪市教　教研集会
講演　ビスカルド篤子さん
分科会　図工・音楽…
10月14日(土) 13：30
アネックスパル法円坂

発行　大阪市学校園教職員組合　大阪市中央区法円坂1－1－35（大阪市教育会館内）
TEL 6910-8700 https://osaka-shikyo.org/
FAX 6910-7990 E-mail o-sikyo1@sea.plala.or.jp

小さく輝く学校を守れ〈港区〉〈生野区〉参加型まちづくり

学校統廃合反対の取組

学校統廃合を考える学習会―どうする学校再編（大阪市をよくする会港連絡会主催）が9月20日行われ30人が参加しました。

報告した宮城委員長は、学校統廃合強行のために市民を分断する「小規模校では子どもがかわいそう」論が教育学的根拠がない俗論で、小さくてもきらりと輝く学校が全国にも多数あることを指摘、不登校・いじめも少なく、学力も高くなることを強調しました。

港区＝9月20日

生野区＝9月30日

港区の説明会（7月26日、8月1日）でも、「選択制で少人数の学校を作ったのは当局」「学校再編する前にちゃんとまちづくりをしてほしい」「日本の見本となるような中学校を廃校に追い込んでいいんですか」などの意見が出されていますが、学習会参加者から「結婚しても地元に戻る地域」「地域の魅力で子育て世代を増やしたい。統廃合反対を訴えたい」「地域の対話を広げていきたい」との声が上がりました。

義務教育学校卒業式がない

生野区学校統廃合による子どもたちの教育環境とまちづくりを考える集いが9月30日開かれ35人が参加しました。

統廃合でできた小中一貫校の保護者が「教室が狭く習字の道具も教室外のロッカーにぎゅうぎゅう詰め。新校舎に入れてよかったねと言ったら娘が『新しいだけやで』。通学路も危ない。保護者も先生も混乱している」と発言。

連合町会長さんが「夢と希望を語る小学校卒業式がない（義務教育学校）。避難所となる小学校の体育館にエアコンが無いなど地域の問題、党派を超えた草の根の運動をもう一度盛り上げないといけない」「地域コミュニティは学校が無くなったら壊れる。多文化共生の生野区。少人数の学校が理想。地域ががっちり固めたら学校は残る。跡地を業者に貸すと困難が生じている。避難所の充実は行政の責任」と話しました。

自治能力の高い市民の育成

中山徹奈良女子大教授が講演「生野区のこれからのまちづくりを考える」で、日本は学級規模が大きすぎることをまず指摘しました。ヨーロッパのゆとりある教室の写真を示しました。

小学校の全ての跡地に、防災・避難所機能、地域コミュニティ機能を条件付けたのは地域の働きかけによる重要な成果と指摘。

統廃合後に問題が現れる。継続的に行政に働きかけることが必要で、生野の皆さんが学習会を行っていることは優れたこと。全国的に広げていくことが必要と述べました。

これからのまちづくりの争点は、学校統廃合と跡地利用で新たに発生した問題を市民の意見を踏まえ行政に責任を果たさせることと指摘。子育て世帯の流出、高齢化率や空き家率が高い問題、移動困難、災害などの課題がある。まちづくりで重要なことは、自治能力の高い市民を育成すること、参加型のまちづくりの重要性を強調しました。

大教組教研

「新しい戦前」の中でどう正気を保つか

府立茨川高校ダンス部のパフォーマンス（写真）で開会した教育のつどい大阪2023が9月23日行われ320人が参加しました。

ジャーナリストの金平茂紀さんが記念講演「『新しい戦前』の中でどう正気を保つか」を行ないました。

明治神宮外苑地区再開発の見直しを求め都知事に手紙を送った坂本龍一氏が09年のラジオ番組で「なぜ日本がこんなに言いたいことを言えない国になったのか。言いたいことを言いましょう」と話したことを紹介。いまはもっと酷くなっている。

ウクライナへの武器支援は人を殺すこと。直前に台湾を訪問し、「台湾有事」を道具に使わないでと聞いたこと、南西諸島の前進基地化が有無を言わせず強行されていることを批判。日本を戦争できる国にしようとしている。憲法9条がますます大事になっている。「国の交戦権は、これを認めない」の価値はすごい。

関西万博反対など言いたいことを言い、しなやかにたたかっていこうと呼びかけました。

温暖化止めようワタシのミライ

9・18中之島中央公会堂前

スタンディングに150人が参加。気候正義を求める市民の共同がスタート。

市対連交渉

「教育費完全無償」を 特別支援教育充実

市対連「24年度大阪市予算に対する要望書」交渉（教育行政）が9月6日行われました。

就学援助の認定率が11年度33・6％から20年度21・4％に低下しています。16年度「大阪市貧困調査」結果報告が捕捉率を上げることを求めていたことを指摘しましたが、従前の回答に終始しました。「授業料無償」から「修学費無償」「教育費完全無償」を実現することを求めました。

不登校の増加、ストレスフルな学校環境が国際社会から指摘されていることを指摘。「不登校が生じないような魅力ある学校づくり」の回答を真に実現することを迫りました。

特別支援学級在籍数が305人増にもかかわらず85学級減となっています（学校現況調査）。教育的ニーズに応じた、障害種別による学級設置支援学級・通級指導教室の設置、人的配置を求めました。「学校安心ルール」等による管理教育を改めることを求めました。

デザイン教育研究所が専修学校として独自性を発揮していくための高校教育との接続性についての方針を明らかにすることを求めました。

教員の長時間勤務に歯止め 豊かな学校教育実現全国署名

仲間が増えた！

長時間勤務に歯止めをかける署名、教研の取り組みで拡大を

港支部では、例年３つの労連が主催する教育問題の学習会に向けて、「教員の長時間勤務に歯止めをかけ、豊かな学校教育を実現する全国署名」を、呼びかけ文なども付けて170通作り、港区と西区の各団体に届けました。署名と学習会の成功を目指しています。

９月16日、17日に全教で組織拡大の交流集会が開かれ、さまざまな取り組みを交流しました。興味深かったのは「組合勧誘のシュミレーション」の報告。職場の状況や場面を設定し、どのような声かけをすればよいのかを検討し練習しているそうです。

秋は教研集会や支部の行事が企画されています。組合の大切さを大胆に語り、仲間を増やしましょう！